

『平成 23 年度 第 1 回地域力創造セミナー』開催のご案内

◆ 本セミナーの開催趣旨

国・地方の厳しい財政状況や人口減少社会の到来など、地域を取り巻く環境が大きく変化している中、地域を支える人材の育成や地域経営のためのノウハウ蓄積、コミュニティ活動の再生など、「地域力」を高める取組や「住民協働」の視点が更に重要となってきております。このため、活力ある地域づくりや課題解決に取り組む各地方公共団体のノウハウ蓄積、人材育成等を支援するとともに、共通の行政課題に取り組む地方公共団体同士や講師とのネットワーク構築の場を提供するため、「地域力創造セミナー」を開催します。

◆ 第 1 回セミナーの開催日時、場所

- 日 時：平成 23 年 5 月 26 日(木) 10:30~12:10
- テーマ：『地域の活性化に必要なものとは』
- 場 所：沖縄県市町村自治会館 (<http://okinawa-jchikaikan.com/index.html>)
沖縄県那覇市旭町 116-37

◆ 本研修の特長

- ★「地域人材ネット」へ登録の専門家等を講師・発表者として、活力ある地域づくりや課題解決の先進事例等の講義等を通して、知識やノウハウが習得できます。
 - ★受講募集時に質問を募り、それを講義へ反映させることで受講者のニーズに対応いたします。
 - ★セミナーを通じて、講師や受講者が自由に情報交換をすることでネットワークを広げる機会があります。
- ※「地域人材ネット」：地域活性化に活躍している民間専門家や先進市町村職員等を登録し、総務省ホームページで広く紹介することにより、市町村相互の交流やノウハウの共有等に寄与しています。
地域人材ネット Web アドレス：<http://www.soumu.go.jp/ganbaru/jinzai/index.html>

◆ 本セミナーの受講の対象者

- 地域活性化に興味を持つ、あるいは関連部署の行政職員
 - 地域活性化に興味を持つ団体職員、住民
- ※募集人数は50名程度を予定しております。申し込み多数の場合は地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数を有する方を優先させていただきます。

◆ 参加費

セミナー参加は無料です。

◆ 応募方法

申し込み欄にある必要事項を記載の上、平成 23 年 5 月 11 日(水) 17 時までに総務省地域力創造グループ地域自立応援課宛に電子メール<k.kishiue@soumu.go.jp>または FAX でお申し込みください。受講決定は、5月中旬に申込者へ直接お知らせします。

◆ 問い合わせ先

総務省地域力創造グループ 地域自立応援課
担当：秦野地域支援専門官、西村係長、岸上事務官
TEL：03-5253-5392 FAX：03-5253-5537
E-Mail：k.kishiue@soumu.go.jp

◆ 第1回セミナーの内容

1. 開会 (10:30)
2. 基調講演・事例報告 (10:40~12:10 90分)
 - ・講演テーマ「～グルメと映画のまちおこし～地域発信型映画の取り組みと地域の活性化」
講師：地域活性プランニング代表取締役 藤崎 慎一 氏
 - ・取組報告テーマ「『十日町市を有名にし隊(ごったく)』の活動状況」
報告者：財団法人 十日町地域地場産業振興センター(新潟県十日町市)
振興事業課 課長補佐 庭野 方資 氏
 - ・沖縄国際映画祭地域発信型映画のダイジェスト版上映
3. 閉会 (12:10)

◆ セミナー会場(沖縄県市町村自治会館)までのアクセス

■ 公共交通機関をご利用の場合

那覇バスターミナルから徒歩3分
モノレール旭橋駅から徒歩5分



■ お車でご来場の場合

那覇空港から車で10分
会場には駐車場を用意しておりませんので、お近くの駐車場をご利用ください。

【ご参考】カフーナ旭橋パーキング

1時間まで 250円

1時間以降、30分ごと 100円



◆ 申し込み欄

| | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| 氏名(ふりがな) | () |
| E-mail アドレス | |
| 電話番号 | |
| ご所属 | (所属名) |
| | (部署名) () (役職名) |
| | (電話番号) |
| | (地域活性化や住民協働などに関する事業の経験年数) 年 |
| 本セミナー当日にお聞きしたいことがございましたらご記入ください | 講師名： 質問： |

複数名申し込みの際は、応募用紙をコピーしてください。

講師の紹介

◆ プロフィール

藤崎 慎一（ふじさき しんいち）
株式会社 地域活性プランニング 代表取締役



1986年3月 中央大学卒業
 1986年4月 (株)リクルート入社 住宅情報事業部配属
 1993年4月 課長昇任 全社 MVP を2年連続受賞
 1999年4月 地域活性事業部商品開発 G マネジャー
 観光振興をはじめ、雇用・定住・教育など地域活性に関する企画・プロデュースを行う。
 2003年4月 (株)地域活性プランニングを設立
 企業コンサルを主業務とする一方、そのノウハウで全国各地の地域活性事業を実践。

主な委員会等 「地域活性化伝道師」(内閣官房)
 「地域力創造アドバイザー」(総務省)
 「地域におけるキーパーソン研究会」座長(経済産業省)
 「地域中小企業サポーター」(経済産業省)
 「茨城県ブランド戦略会議」委員長(茨城県)
 「成田空港成長戦略会議委員」(千葉県成田市)

◆ 活動概要

●「まちづくりはひとづくり」をキーワードに“よそ者、わか者、ばか者”を活用した住民参加型の自立型地域活性を目指し、ビジネス視点を取り入れた地域活性事業を実践。
 2009年度に総務省の地域力創造アドバイザーとして新潟県十日町市に派遣。住民たちが“自ら考え、自ら行動し、責任をとる”という主体的な動きを作り出すため全13回のWSとインナー会議を開催。まちづくりの土台の整備と、それを継続的に機能させるための組織づくりを行った。
 また2010年、千葉県成田市で行われた「成田空港成長戦略会議WG」では委員の一人として招致される。国際空港と門前町の魅力を融合させた「成田ブランド」を国内外に発信するため、官民一体のPR部隊「空援隊」の結成にも携わり、成田の新名物「成富うどん」の開発や、映画やドラマの撮影を誘致する「成田ロケーションサービス」の設立時に助言・指導を行った。
 他にも地域独自の資源を再発見でき、マスコミから一般読者まで幅広く支持される国内唯一の映画・ドラマ等のロケ地情報誌『ロケーションジャパン』(3.5万部)の発行人でもある。

『十日町市を有名にし隊(ごったく)』とは

2009年7月、十日町地域地場産業振興センター(クロス10)職員、行政、住民有志からなる22名の活動組織を立ち上げ、地域力創造アドバイザーの助言のもと、魅力ある十日町の発見、地域の強み・弱みの再発見、あるべき姿は何か、などをテーマにしたワークショップを通じて「自然が育んだアートの町」というキャッチコピーによる地域ブランドの構築方針を確立した。
 2010年4月、これをテーマに「ロケ誘致」と「特産品開発」の2つの手法で日本全国、世界中に向けて情報発信していくため、『十日町市を有名にし隊(ごったく)』が結成された。
 『ごったく』には新たな特産品の開発や今ある商品を特産品にするために「特産品部会」を設けているほか、「十日町市ロケ応援団」と連携してロケ誘致に取り組んでおり、沖縄国際映画祭で上映された地域発信型プロジェクト「雪の中のしろうさぎ」のロケを支えた。また、これらの活動やイベントなどの情報を発信するために「広報部会」が設けられている。
 『ごったく』は「物」だけではなく、十日町市の人々がもつ「心」も商品だと考えている。それは人々が持つ知識や経験、ノウハウが十日町市の発展に欠かせないためである。
 「ロケ誘致」と「特産品開発」は、まさに「心」と「物」の両方が必要不可欠である。「ロケ誘致」で人を呼びこみ、十日町市で生み出した「特産品」を多くの人に見てもらい、手にしてもらい、買ってもらう、最後には気に入ってもらおう。
 『ごったく』はこの2つの活動を通じて十日町市の活性化を図ろうと活動している。
 ◎『十日町市を有名にし隊(ごったく)』ホームページのご案内
<http://nazida.net/gottac>

地域経済に活力を

地域経済の停滞が深刻化する中、地域に活力をもたらそうとする「キーパーソン」が全国で活動している。独自のネットワークや手法を駆使し、地域の生活者と一体になって産業振興やまちづくりに取り組んでいる。経産省は9月にこうした人たちがより活躍できる環境づくりを検討するため「地域におけるキーパーソン活用・支援方策に関する研究会（キーパーソン研究会）」を立ち上げた。同研究会で座長を務める地域活性プランニング社長の藤崎慎一氏に、地域活性化のポイントや研究会の方向性を聞いた。

地域におけるキーパーソン活用・支援方策に関する研究会座長(地域活性プランニング社長)

藤崎 慎一氏に聞く

「全国各地で地域おこしが盛んですが、必ずしもうまくいっていません。自治体が外部から有識者を招き、意見を取り入れて行うケースが見受けられるが、それだけではうまくいかない。地域おこしが成功する秘訣は地元で危機感があるかどうかであり、他人任せではダメ。地域の人

がどれだけヤル気を出して出す『コーチング』だ。だから、私が何をやるのかを

自ら活動するにかかっている」
「どんなスタンスで地域活性化に取り組んでいますか。」

「私が行っているのは地域の良いところやそこで活動している人の良さを引き

成功の秘訣は「ヤル気」

成果が出る基盤をつくる

「具体的な事例を教えてください。」
「例えば静岡県・三ヶ日」

「ふじさき・しんいち 86年(昭61)リクルート入社。03年地域活性プランニング設立。企業コンサルの方、まちづくりはひとづくり」をキーワードに、よそ者、わか者、ばか者を活用した住民参加型の自立型地域活性化を目指し、中央省庁、都道府県などの委員を歴任。また内閣官房「地域活性伝道師」、総務省「地域力創造マネージャー」に選任。国内初のロケ地情報誌「ロケーションジャパン」(3万5000部)を発行。

では、地域住人が地域活性グループ『SM@Pe』を「何のために」「誰のために」「どうなりたいのか」を考えていただき、地域ブランド品の開発やイベントの開催など活動を活性化させている。新潟県十日町市でのプロジェクトでは、地域資源を全国に発信

するアイデアを出し合い、特産品の開発や広報・宣伝活動を行っている。いずれも地域の人たちと何度も会

議の場を設けて彼ら自身が行うべきことを考えた」
「映画のロケ地誘致やB級グルメによる地域おこしにも取り組んでいます。」

「これらはいくまでも地域活性化の手段であり目的ではない。地域の人が楽しみながらでき、活動する中で人材が育ってくる。関連する産業が生まれれば雇用の創出にもつながる。また、B級グルメのイベントで得た収入は、地域づくりの資金源になり、継続的な活動が可能になる」

「キーパーソン研究会をどんな方向に持っていきたいですか。」

「キーパーソン研究会には販路開拓や海外展開など各分野の達人が集まっている。こうした人たちの役割分担を明確にして、地域おこしの成果が出る基盤をつ



(村山茂樹)